

WebSphere® Process Server for Multiplatforms



バージョン 7.0

クイック・スタート・ガイド

IBM® WebSphere® Process Server のインストールおよび構成を始めるときに参照していただくガイドです。



各国語バージョン: 各国語に翻訳されたクイック・スタート・ガイドを入手するには、クイック・スタート CD にある PDF ファイルにアクセスしてください。

製品の概要

WebSphere Process Server は、次世代のビジネス・プロセス統合サーバーであり、実績のあるビジネス・インテグレーション概念、アプリケーション・サーバー・テクノロジー、および最新のオープン・スタンダードを基に進化した製品です。

1 ステップ 1: ソフトウェアおよび文書の入手



製品をパスポート・アドバンテージからダウンロードする場合は、以下のダウンロード文書の指示に従ってください。

<http://www.ibm.com/support/docview.wss?rs=2307&uid=swg24024230>

この製品オファリングの内容は以下のとおりです。

- クイック・スタート CD
- WebSphere Process Server 7.0 (IBM Installation Manager 1.3.3 および IBM User Interface Help System Built on Eclipse 3.4.2 を含む)
- WebSphere Application Server Network Deployment 7.0 (IBM Update Installer for WebSphere Software、IBM HTTP Server、Web Server Plug-in、および Application Clients for WebSphere Application Server を含む)
- WebSphere Application Server Network Deployment 7.0 Supplement
- WebSphere Install Factory 7.0
- IBM Rational® Application Developer
- IBM Edge Components 7.0
- IBM Support Assistant 4.0.2 (WorkBench)
- IBM DMZ Secure Proxy Server 7.0
- DB2® Restricted Enterprise Server Edition 9.5
- IBM Tivoli® Directory Server 6.2
- IBM Tivoli Access Manager for e-Business 6.1
- IBM Tivoli Composite Application Manager for WebSphere 7.0

一部のコンポーネントはオプションです。ご使用のプラットフォームに対して提供されるコンポーネントの完全なリストについては、WebSphere Process Server の資料の『WebSphere Process Server のパッケージ化 (Packaging for WebSphere Process Server)』を参照してください (http://publib.boulder.ibm.com/infocenter/dmndhelp/v7r0mx/topic/com.ibm.websphere.wps.doc/doc/cins_packaging.html)。

インストール手順などの文書一式については、WebSphere Process Server インフォメーション・センター (<http://www.ibm.com/software/integration/wps/library>) を参照してください。

2 ステップ 2: ハードウェアとシステム構成の評価



WebSphere Process Server は、さまざまな構成で使用可能です。インフォメーション・センターの『WebSphere Process Server の計画』を参照してください。WebSphere Process Server 製品のライセンスを検討して、トポロジーをサポートするために十分な数の許可があることを確認し、製品に含まれるすべてのソフトウェア・コンポーネントの使用制限について理解してください。

システム要件の詳細については、<http://www.ibm.com/software/integration/wps/sysreqs/> を参照してください。

3 ステップ 3: 製品のインストール



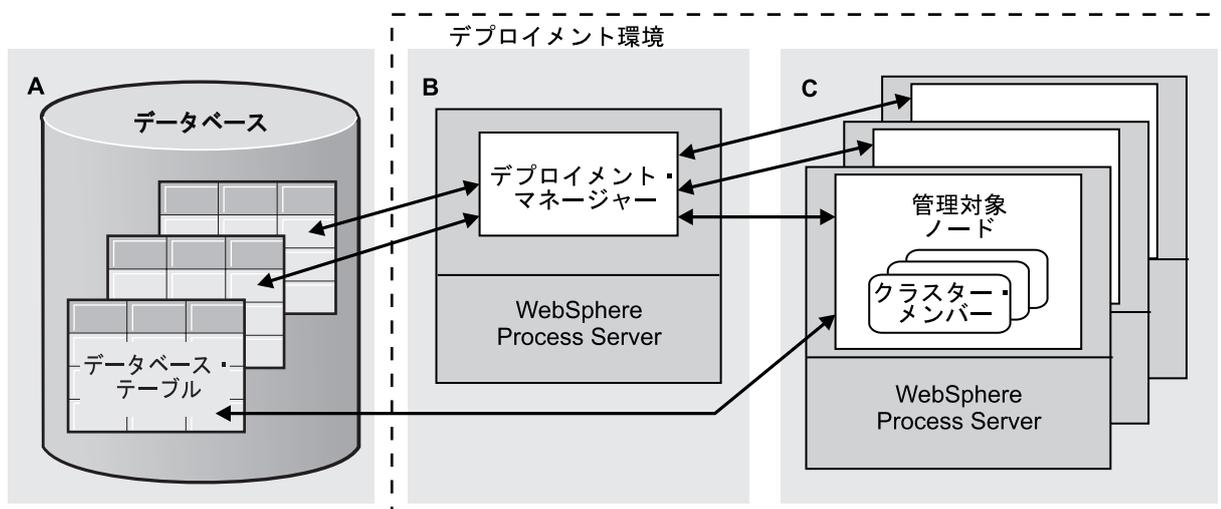
製品のインストールと同時に、Apache Derby Embedded データベースを使用してスタンドアロン・サーバー開発プロファイルを作成する方法の概要を以下に説明します。詳細なインストール手順については、インフォメーション・センターの『WebSphere Process Server のインストール (Installing WebSphere Process Server)』を参照してください。

- A. 電子イメージを解凍した場所からランチパッド・ファイルを開始します。ランチパッドで、「新規インストール」をクリックします。
- B. ランチパッドで「WebSphere Application Server のインストール」をクリックして、WebSphere Application Server Network Deployment のサイレント・インストールおよびインポートを行います。
- C. ランチパッドで「WebSphere Process Server のインストール (Install WebSphere Process Server)」をクリックします。IBM Installation Manager で、指示に従って製品をインストールします。インストールするフィーチャーとして必ず「スタンドアロン開発 WebSphere Process Server プロファイル」を選択してください。

4 ステップ 4: 次の手順: 実動デプロイメント環境の作成



インフォメーション・センターの資料を参照してユーザーのニーズに応じたデプロイメント環境を計画し、インストールと構成を行ってください。本セクションの図は、システムのトポロジーおよび構成の一例を示しています。下図は、複数のホストを持つデプロイメント環境の例です。管理サーバー (デプロイメント・マネージャーと呼ばれます) がホスト (B) にあり、その他の各ホスト (C) には管理対象ノードがあります。それらのノードにはアプリケーション・サーバー (図ではクラスター・メンバー) が定義されています。データベース (A) とすべてのホストとの間で、データ交換が発生します。



各ホストに必須ソフトウェアをインストールしてから、プロファイル管理ツールを使用して、各管理対象ノードについてデプロイメント・マネージャー・プロファイルおよびカスタム・プロファイルを作成します。(インフォメーション・センターの『プロファイルの構成 (Configuring profiles)』を参照してください。) 次に、管理コンソールの「デプロイメント環境」ウィザードで、提供されている共通パターンのいずれか、または独自のカスタム構成を使用して、デプロイメント環境を作成します。(インフォメーション・センターの『デプロイメント環境の作成』を参照してください。) 詳細な手順についてはインフォメーション・センターを参照してください。

その他の情報



その他のテクニカル・リソースについては、以下のリンクを参照してください。

- IBM Education Assistant <http://publib.boulder.ibm.com/infocenter/ieduasst/v1r1m0/>
- WebSphere Application Server の資料 (<http://publib.boulder.ibm.com/infocenter/wasinfo/v7r0/>)

